

平成26年度 大学院造形研究科 修士課程 [A日程] 入学試験
問題

■美術専攻 造形理論・美術史コース 小論文 (2時間)

【問題】

あなたの専門領域で最も感動した作品について、歴史的、社会的背景を踏まえて、感動した理由を説明しなさい。(800字以内)

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース 外国語(英語) (1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

—英文省略—

出典：Richard Brilliant, *Portraiture*, Harvard University Press, Cambridge, 1991

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

■美術専攻 造形理論・美術史コース 専門基礎(筆記試験) (1時間)

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

1. 洛中洛外図屏風
2. ヴィッラ・アドリアーナ
3. 新古典主義
4. 青手丸谷
5. イサム・ノグチ

6. 田園都市
7. 友禅染
8. 流線型
9. ジョット・ディ・ボンネ
10. 山田寺仏頭
11. フランク・ロイド・ライト
12. ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー
13. 竹内栖鳳
14. ゼウクシス
15. チャールズ・イームズ
16. モザイク画
17. 釈迦塔（中国山西省応県）
18. フレスコ画
19. 早春図
20. ベルヴェデーレのトルソ

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×2枚

■美術専攻 芸術文化政策コース 小論文（英語含む）（2時間）

【問題】

添付の文章は、フランスの哲学者、ロラン・バルトが、日本に滞在したおりの、印象記として出版した『表徴の帝国』（宗左近訳、Roland Barthes: L'empire des signes, 1970）から抜き出した章である。これを読んで、文中の分析から、ポイントを拾いながら、あなた独自の解釈を加えて、「日本文化論」を、1,200字以内で展開しなさい。また、その要旨を、200ワード程度の、英文にまとめなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
（『表徴の帝国』は、1974年、新潮社刊。出典は、ちくま学芸文庫版（1996年刊）、35頁-40頁）
3. 原稿用紙×1セット
4. 解答用紙（英語用）×1枚

5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 視覚伝達デザインコース 小論文および設問 （2時間）

【小論文1】

あなたにしかできない得意分野について、具体的かつ簡潔に述べなさい。論旨を明確にし、文章のはじめに必ず表題（タイトル）を付け、400字以内で記述しなさい。

【小論文2】

与えられた資料Aは、1587年にChristophe de Savignyの著作『Tableaux accomplis』に掲載された「Geometry」というダイアグラムです。資料Bは、2007年にChris Harrisonがデザインした「ClusterBall」のダイアグラムです。資料Cは、2009年にJ. Bollen, H. Van de Sompel, A. Hagberg, L. Bettencourt, R. Chute, et al. がデザインした「Map of Science」です。この3つの資料から導き出される、ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインの役割を考察し、それについて具体的に述べなさい。論旨を明確にし、文章のはじめに必ず表題（タイトル）を付け、800字以内で述べなさい。

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 【資料A】 【資料B】 【資料C】 ×各1枚
Christophe de Savigny, 『Tableaux accomplis』, p35, 155, p201
3. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
4. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット
5. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 工芸工業デザインコース 小論文 （2時間）

【問 題】

ものづくりに携わる人が「常に考えなければならない事」について、自分なりの考えを展開し、その「考え」に対し、自分は何の様に取り組み、ものづくりを進めるのか、自由に述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題

2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 建築コース 小論文（英語含む）（2時間）

【問題1】

別紙の英文は、アトリエ・ワンによる建物の世代についての記述である。

これを読んで以下の問いに答えなさい。

- (1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) この記事について、日本語でコメントしなさい。（80字程度）

【問題2】

都市における住宅の振る舞いに着目し、新しい世代の住宅としてどのようなことが提案できるのか、現在の住宅の問題点とともに論述しなさい。（600字以内）

[条件]

原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
『アトリエ・ワン | 空間の響き／響きの空間』、INAX 出版、2009年、94頁
3. 【問題1】用 解答用紙×1枚
4. 【問題2】用 原稿用紙×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 映像コース 小論文（2時間）

【問題】

次の文を読み、あなたの考えを論じなさい。

映画監督のロベール・ブレッソンは「トーキーのサウンドトラックはサイレンスを発明した」と述べている。（1,000字以内、タイトルを20字以内で付けること）

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトル

は指定字数に含む。

3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 写真コース 小論文（2時間）

【問 題】

過去から現在まで、あなたの心に残った写真家を複数名挙げ、その作品についての持論を1000字以内で展開しなさい。また、論旨を明確に表現するタイトルを20字以内で付けなさい。

[条件]

1. 解答は、配付された原稿用紙に指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

平成26年度 大学院造形研究科修士課程 [B日程] 入学試験問題

■美術専攻 日本画コース 実技（素描）（6時間）

【問題】

モデルを鉛筆デッサンしなさい。

[条件]

答案用紙は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B2画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■美術専攻 日本画コース 小論文（2時間）

【問題】

社会の変化の激しい現代において、日本画独自の表現の可能性について考えるところを述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 油絵コース 小論文（2時間）

【問題】

美術制作における内容と技術の関係について述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■美術専攻 版画コース 小論文（2時間）

【問題】

自分が特に興味を持っている版画作家あるいは作品を、ひとり（あるいはひとつ）挙げ、その作家あるいは作品のどのような点を重要だと考えるのか、論じてください。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■美術専攻 彫刻コース 実技（デッサン）（6時間）

【問題】

与えられた用紙の中に、これから展開しようとする自己の作品を実物大で描きなさい。
なお、全体が入りきらない場合は主要部を描くこと。

[条件]

1. 描画材料は木炭、鉛筆、コンテ（選択自由、併用可）。
2. 答案用紙（画用紙）は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（画用紙）×1枚
3. 下書き用紙（B4上質紙）×4枚

■美術専攻 彫刻コース 小論文（2時間）

【問題】

パブリックアートなどの都市の街頭に設置される屋外彫刻のあるべき姿を論じなさい。
（1,000字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース 小論文（2時間）

【問題】

日本において海外作品を主な対象とする美術館の、展示と研究のあり方について、あなたの
考えるところを述べなさい。

（1,000字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット

■美術専攻 造形理論・美術史コース 外国語 (英語) (1時間)

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

※英文省略

出典：Mari Griffith, Myth and Legends, National Gallery Company London, 2005

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

■美術専攻 造形理論・美術史コース 専門基礎 (筆記試験) (1時間)

【問題】

次の事項の中から任意に5つを選び、各事項の説明を解答用紙に簡潔に記述しなさい。

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 本阿弥光悦 | (11) 大乘寺襖絵 |
| (2) 油彩画技法の発生 | (12) コンスタンティヌス帝 |
| (3) 曾我蕭白 | (13) 歴史建築の部分保存 |
| (4) エドヴァルド・ムンク | (14) エレファンタ石窟 |
| (5) シーキリヤ (スリランカ) | (15) エウフロニオス |
| (6) 丹下健三 | (16) フライング・バットレス |
| (7) アンフォルメル | (17) 田中一光 |
| (8) 金銅盧舎那仏坐像 (東大寺) | (18) ディエゴ・ヴェラスケス |
| (9) エル・リシツキー | (19) ヘルクラネウム |
| (10) メトープ | (20) トーマス・デマンド |

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×2枚

■美術専攻 芸術文化政策コース 小論文 (英語含む) (2時間)

【問題】

別紙の文章は、1990年に書かれたもので、民間企業が芸術活動を支援するという、当時新しい風潮と考えられた流れについて、特に海外で起こっている動きと、その特徴を示唆しています。

問題1. ここに述べられている内容を、200字以内で要約しなさい。またそれを300ワード程度の英文で書きなさい。

問題2. 現代の日本における、企業による芸術活動の支援について、具体的な例を挙げながら、あなたなりの視点による論を1,200字以内で展開しなさい。

[条件]

1. 問題2. の解答は配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。
2. 氏名欄は全頁記入すること

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚

出典：高階秀爾『芸術のパトロンたち』岩波新書、1990年、210頁～213頁

3. 解答用紙（問題1.用）×1枚
4. 原稿用紙（問題2.用）×1セット
5. 下書き用紙（B4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 視覚伝達デザインコース 小論文および設問（2時間）

【小論文1】

あなたが大学院で研究したいテーマとその内容、手法について400字以内に要約し、具体的に記述しなさい。なお、小論文には必ず表題（タイトル）を20字以内でつけなさい。

【小論文2】

2020年に東京でオリンピックが開催されることが決定しました。オリンピックのベースになる「スポーツ」には、単純に身体を動かすということだけではなく、競争、ルール、協調、かけひき、パフォーマンス、エンターテイメント、楽しさ、スピード、リズム、練習、鍛錬、用具などさまざまな要素が含まれています。そして、そこには「デザイン」という要素が必要になってきます。

「スポーツ」と「視覚伝達デザイン」との関係についてあなたの考えを1,200字以内で記述しなさい。なお、小論文には、必ず表題（タイトル）を20字以内でつけなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 【小論文1】用 原稿用紙×1枚
3. 【小論文2】用 原稿用紙×1セット

■デザイン専攻 工芸工業デザインコース 小論文（2時間）

【問 題】

ものづくりを進める上で、最も「大切」だと感じていることについて、自分なりの考えを展開し、その「大切」なことのために、自分はどのように取り組んでいくのか、自由に述べなさい。（1,200字以内）

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

■デザイン専攻 空間演出デザインコース 小論文 (2時間)

【問題】

かつて人々は地球の形や天体の形を空想し、図表や地球儀などに表現してきました。
あなたの地球というものの概念を説明しなさい。(800字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×2枚

■デザイン専攻 建築コース 小論文(英語含む) (2時間)

【問題】

別紙の英文は2013年9月26日のThe Japan Timesのコラム記事、Lighting the Olympic Flameの一部である。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

1. 下線部Aを日本語に訳しなさい。
2. 下線部Bを日本語に訳しなさい。
3. 下線部Cを日本語に訳しなさい。
4. 2020年の東京オリンピックが東京の都市・建築に与える影響について、600字以内で論述しなさい。

[条件]

【問い4】用の原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。

[配付物]

1. 試験問題
2. 別紙×1枚
3. 【問い1. 2. 3】用 解答用紙×1枚
4. 【問い4】用 原稿用紙×1枚
5. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース 小論文 (2時間)

【問題】

デザインの社会的な役割、他者への影響や効果について、自身の研究・制作テーマにも言及しながら、論じなさい。(1,200字以内)

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 原稿用紙×1セット
3. 下書き用紙(B4上質紙)×1枚

■デザイン専攻 基礎デザイン学コース 外国語（英語） （1時間）

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

※英文省略

（出典は、Franz Schulze, Mies Van Der Rohe, The University of Chicago Press,
Chicago and London, 1985）

[配付物] 1. 試験問題

2. 解答用紙×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース 小論文（2時間）

【問題】

2012年、東京ミッドタウン・デザインハブの開設5周年企画として開催された「信じられるデザイン」展は、「信じられるデザインとはどのようなものでしょうか？そのデザインはなぜ信用できるのでしょうか？」との問いに対する51名のクリエイターのメッセージを紹介した展覧会であった。参考資料として配付したメッセージは佐藤卓氏による一例だが、あなたがこの「信じられるデザイン」展に参加するとしたら、どのようなメッセージを寄せますか。20字以内のタイトルをつけて、1,200字以内で論じなさい。

[条件]

1. 原稿用紙は指定字数に従って縦書きで使用する。
2. タイトルは原稿用紙の1行目に記入し、2行目から解答文を記入すること。タイトルは指定字数に含む。
3. 氏名欄は全頁記入すること。

[配付物]

1. 試験問題
2. 参考資料（「信じられるデザイン」佐藤卓氏のメッセージ）
3. 原稿用紙×1セット
4. 下書き用紙（A4上質紙）×1枚

■デザイン専攻 デザイン情報学コース 外国語（英語） （1時間）

【問題】

以下の英文を日本語に訳しなさい。

※英文省略

（出典は Douglas Thomas and John Seely Brown, “A New Culture of Learning” より抜粋）

[配付物]

1. 試験問題
2. 解答用紙×1枚

以上